

# 健康 ウイルス性肝炎 対談特集




奈良県立医科大学 消化器・代謝内科 教授

## 吉治 仁志先生

橿原市出身  
バドミントン女子ダブルス2016年リオデジャネイロ五輪 金メダル

## 高橋 礼華さん



**健康** 

肝臓は沈黙の臓器と言われており、C型肝炎などを発症していても症状がないままに進行する。感染しているかは血液検査でしか分からず、早期検査と対応がリスク回避への大きな分岐点となる。B型、C型肝炎など肝炎ウイルスへの感染を調べる検査の受診率において、奈良県は全国ワーストクラスである。更に、奈良県民の肥満率は高く脂肪肝への注意喚起も必要といった県民特性も考慮する必要がある。そこで肝炎ウイルス検査受診の普及啓発活動を推進している奈良県立医科大学消化器内科教授の吉治仁志教授と、バドミントン女子ダブルスで2016年リオデジャネイロ五輪金メダルの高橋礼華さんに「健康」と「ウイルス性肝炎」について語り合っていた。

**吉治** 日本全国で肝炎ウイルスの中で一番多いのがC型肝炎ウイルスです。奈良県はその検査率が全国でもワーストクラスです。約1万人のC型肝炎ウイルスキャリアが存在していることが推測されます。

**高橋** 気づかないうちに進行しているのは怖いですね。検査自体あまり受けたことがないので検査を受けてみたいと思います。

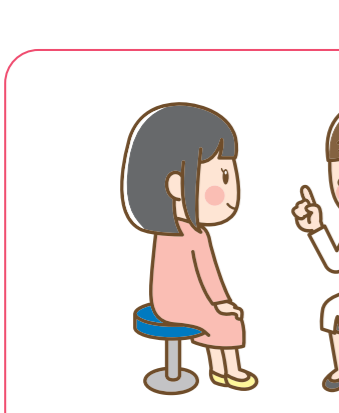
**吉治** 気づかないうちに進行しているのは怖いですね。検査自体あまり受けたことがないので検査を受けてみたいと思います。

**高橋** 海外遠征では、気温や天気の環境が変わるので体調が変わってきます。体に合わない食べ物や飲み物で体調が悪くなることもあったので特に気を付けました。また、疲れが溜まると体に出不易い体質で、体の変化には意識を傾けています。

**吉治** 環境が変わる中で体調の管理することは難しいことです。その中で緊張感をもって競技に取り組むことは素晴らしいと思います。肝臓専門医としては、筋肉をつかって運動することにも、自分でも気付かない内臓の部分を良くしていただくことが心身の充実につながると思います。

**高橋** 海外遠征では、気温や天気の環境が変わるので体調が変わってきます。体に合わない食べ物や飲み物で体調が悪くなることもあったので特に気を付けました。また、疲れが溜まると体に出不易い体質で、体の変化には意識を傾けています。

**吉治** 環境が変わる中で体調の管理することは難しいことです。その中で緊張感をもって競技に取り組むことは素晴らしいと思います。肝臓専門医としては、筋肉をつかって運動することにも、自分でも気付かない内臓の部分を良くしていただくことが心身の充実につながると思います。



肝疾患について相談したい方は、奈良県肝疾患相談センターへ

肝疾患等について不安、疑問を持つ方々に対し、相談や専門医療機関等の情報提供をし、不安の軽減及び医療を継続して受けられるよう支援します。

場所/奈良県立医科大学附属病院2階 新生児・発達外来奥  
相談方法/面接・電話等

奈良県肝疾患相談センター  
TEL.0744-22-1380

肝臓は沈黙の臓器と言われており、C型肝炎などを発症していても症状がないままに進行する。感染しているかは血液検査でしか分からず、早期検査と対応がリスク回避への大きな分岐点となる。B型、C型肝炎など肝炎ウイルスへの感染を調べる検査の受診率において、奈良県は全国ワーストクラスである。更に、奈良県民の肥満率は高く脂肪肝への注意喚起も必要といった県民特性も考慮する必要がある。そこで肝炎ウイルス検査受診の普及啓発活動を推進している奈良県立医科大学消化器内科教授の吉治仁志教授と、バドミントン女子ダブルスで2016年リオデジャネイロ五輪金メダルの高橋礼華さんに「健康」と「ウイルス性肝炎」について語り合っていた。

**吉治** 日本全国で肝炎ウイルスの中で一番多いのがC型肝炎ウイルスです。奈良県はその検査率が全国でもワーストクラスです。約1万人のC型肝炎ウイルスキャリアが存在していることが推測されます。

**高橋** 気づかないうちに進行しているのは怖いですね。検査自体あまり受けたことがないので検査を受けてみたいと思います。

肝疾患について相談したい方は、奈良県肝疾患相談センターへ

肝疾患等について不安、疑問を持つ方々に対し、相談や専門医療機関等の情報提供をし、不安の軽減及び医療を継続して受けられるよう支援します。

場所/奈良県立医科大学附属病院2階 新生児・発達外来奥  
相談方法/面接・電話等

奈良県肝疾患相談センター  
TEL.0744-22-1380

肝臓は沈黙の臓器と言われており、C型肝炎などを発症していても症状がないままに進行する。感染しているかは血液検査でしか分からず、早期検査と対応がリスク回避への大きな分岐点となる。B型、C型肝炎など肝炎ウイルスへの感染を調べる検査の受診率において、奈良県は全国ワーストクラスである。更に、奈良県民の肥満率は高く脂肪肝への注意喚起も必要といった県民特性も考慮する必要がある。そこで肝炎ウイルス検査受診の普及啓発活動を推進している奈良県立医科大学消化器内科教授の吉治仁志教授と、バドミントン女子ダブルスで2016年リオデジャネイロ五輪金メダルの高橋礼華さんに「健康」と「ウイルス性肝炎」について語り合っていた。

**吉治** 日本全国で肝炎ウイルスの中で一番多いのがC型肝炎ウイルスです。奈良県はその検査率が全国でもワーストクラスです。約1万人のC型肝炎ウイルスキャリアが存在していることが推測されます。

**高橋** 気づかないうちに進行しているのは怖いですね。検査自体あまり受けたことがないので検査を受けてみたいと思います。

**吉治** 環境が変わる中で体調の管理することは難しいことです。その中で緊張感をもって競技に取り組むことは素晴らしいと思います。肝臓専門医としては、筋肉をつかって運動することにも、自分でも気付かない内臓の部分を良くしていただくことが心身の充実につながると思います。

### C型肝炎は放っておかないで

たとえ今、症状がなくても、C型肝炎ウイルスはきちんと身体から排除しないと、肝臓がんになる可能性があります。今は、飲み薬で治療ができる時代です。

注1) C型肝炎の治療には飲み薬以外の治療法もあります。注2) C型肝炎の治療がすべての肝臓がんの発症リスクをなくすわけではありません。

**C型肝炎コールセンター**  
0120-207-802 (受付時間 9:00~18:00)  
C型肝炎に関する資料を差し上げます。

C型肝炎については、下記ホームページもご参照ください。  
**知りたい、治したい、に答える！**  
**C型肝炎サポートネット**  
http://cgatakanen-support.net/

2021年4月作成 アッヴィ合同会社 JP-MAVI-210106-1.0 東京都港区芝浦3-1-21

abbvie

### 不可能は、可能性にあふれている。

不可能は可能性の裏でもあり、明るい未来への扉が必ずあります。私たちがキリアド・サイエンスはこれまで、550以上の国々へと、ともに立ち上がってきたコミュニティやパートナーの協力によって、C型肝炎の患者、HIVの治療に向けた進歩、がん治療の革新的なアプローチや炎症性疾患の最先端の取り組みなど、誰もが困難と予想していたことを実現化してきました。できる限り、いまを変えていく。キリアドは積み重ねます。

GILEAD Creating Possible

### Life with ASKA

先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する。

あすか製薬株式会社  
〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号  
TEL:03-5484-8361(代)

### あなたは肝炎ウイルス検査を受けましたか？

もしかして？と思ったら、一生に一度は検査を受けましょう！

**早期発見 早期治療**

「肝臓は沈黙の臓器！」

●このような方は必ず検査を受けましょう！  
輸血(平成4年以前)、集団予防接種(昭和23年7月1日~昭和63年1月27日)、肝機能異常、カミソリの共用、不衛生な状態でのピアスの穴開け、タトゥー(入れ墨)など

ご質問・ご不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。  
お問い合わせ先  
**奈良県肝疾患相談センター**  
(奈良県立医科大学附属病院)  
☎0744-22-1380 火・水・金 10:00~16:00 (祝日、年末年始除く)

肝炎ウイルスに感染していても自覚症状はありませんので、気づかないうちに肝臓や肝臓がんへと進行している場合があります。最近の肝臓C型肝炎治療は進歩しており、適切な治療を受けることで、深刻な病状に進行するのを防ぐことができます。早期発見が重要です。

### 命のために、できることすべてを。

大日本住友製薬  
Innovation today, healthier tomorrow